

登録コード	E2031900	開講年度	2026				
授業科目	書道演習					担当教員	小林 比出代
英文授業名	Calligraphy Seminar					副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	月曜・3時限		対象学生
講義室	教育M402講義室		授業形態	演習	遠隔授業科目		備考
信大コンピテンシー 該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				○教育活動を遂行する上で、書道に関する専門的知識及び技能を書体や書風ごとに習得し、授業実践に活用できるようになる。 ○「書写基礎」を履修した学生を対象に、書の古典作品を精密に観察し、その作品の結構法・用筆法・章法を考究して、書の表現力を培う。 また、小・中学校の国語科「書写」および高等学校の芸術科「書道」の授業を担当できる能力を養う。		
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	漢字の書を歴史順に学習することによって、書体の変遷や表現方法の特徴に関し、理論と実技の両面から理解習得を深める。 担当教員が高等学校芸術科書道教諭の実務経験を活かして書道理論と実技に関する講義を行います						
(5)授業計画	第1回：書体に関する基礎的知識と文字の成り立ちについて / 篆書の学習 甲骨文と金文 第2回：篆書の学習 小篆 第3回：隷書の学習 隷書の特徴 第4回：隷書の学習 古隷と八分 第5回：隷書の学習 「乙瑛碑」と「曹全碑」 第6回：楷書の学習 造像記 第7回：楷書の学習 初唐の三大家 第8回：楷書の学習 顔真卿の書 第9回：行書の学習 王羲之 第10回：行書の学習 空海 第11回：草書の学習 草書概説 第12回：草書の学習 「書譜」 第13回：自分の課題作品を選定し半折1/2にまとめる 第14回：作品制作と鑑賞 授業アンケート 定期試験 なし						
(6)成績評価の方法	・提出された全課題の内容を、各書体や書風の特徴について理論・実技の両面から習熟できているか総合的に測り（50％）、授業に取り組む姿勢（50％）と併せて評価する。具体的には、各書体や書風の特徴に関する理解度は各自の課題作品によって、実技の習得度及び授業に取り組む姿勢は毎回の授業で課す提出物によって判断する。個々人の達成度も考慮する。						
(7)成績評価の基準	・提出された全課題において各書体及び書風の特徴を理論・実技の両面から習熟できた割合が9割以上を「卓越している」、8割以上9割未満を「かなり上にある」、7割以上8割未満を「やや上にある」、6割以上7割未満を「水準にある」とし、併せて出席率及び授業に取り組む姿勢を加味する。 秀：授業内容をきわめて高度に理解するとともに、批判的思考力に基づく探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、高度な活動成果を示している。 優：授業内容を理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、良好な活動成果を示している。 良：授業内容のおおよそを理解し、講義内容を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題等に誠実に取り組み、授業ねらいで求める活動成果の三分の一程度の達成が認められる。 可：授業内容の一部を理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題の一部は誠実に取り組み、部分的に努力の認められる活動成果を示している。 不可：授業出席以外は可とすべき内容を満たさない。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	【事前学習】 ・次回授業までに行ってくる課題を出すことがある。当該授業で扱う内容となる。真摯に取り組んでほしい。 【事後学習】 ・各授業時間内では習得しきれなかったと考える学習内容については、次の授業までに各自補習しておく。						
(9)履修上の注意	・書道用具（大筆・小筆・墨・半紙・硯・下敷・文鎮・鉛筆）を各自で用意すること。 書道用具は第1回の授業から使用するので、忘れずに持参すること。 ・座席は指定する。						

(9)履修上の注意	・受講人数は施設の都合上最大22名とする（希望者超過の場合抽選を行い、国語主免の4～3年生国語副免の4年生を優先する）。
(10)質問，相談への対応及び連絡先	原則としては授業時に直接の形が望ましい。個人的な相談や質問等はメール、もしくはオフィスアワーを利用してもよい。対応可能な場合はその他の時間でもよい。 メールアドレス：hideyokb@shinshu-u.ac.jp 研究室電話番号：内線4073 研究室：M413
【教科書】	・『書の古典と理論 改訂版』（全国大学書道学会編）光村図書（2,200円） ・必要に応じてプリント資料を配布する。
【参考文献】	・書道全集（平凡社） ・書跡名品叢刊（二玄社）など。 講義中にも指示する。